

令和8年

第一部 15:00~16:00

第二部 16:15~17:15

8月11日(火) 祝

ヒロロ4階 弘前市民文化交流館ホール

14:15 開場 / 15:00 開演

人間椅子ギタリスト

和嶋慎治

料金 ¥3,000

※事前申込先着順
※入場料は当日受付にて徴収いたします。

対象 小学生以上

小学生は保護者同伴・最後まで静かに聴いていただける方に限ります。

申込み 6/14(日) 8:30~

弘前市民文化交流館にて
申込み受付開始



◀お申込みフォーム
電話・窓口のいずれか
でお申込みください。
0172-35-0154
(受付時間 8:30~21:00)

キャンセルについて

キャンセルされる場合は前日までに必ずご連絡
ください。当日の無断キャンセルにつきましては、
後日キャンセル料を請求いたします。

津軽の怪人 たち

弘前出身の怪人たちによる怪トーク

鉄爺

弘前乃怪代表

精神科医

ラッパー! 怪談師

Dr マキダシ

怪談作家

黒木あるじ

鶴乃大助

怪談作家

託児 有料(一時間 500円)

ヒロロ3階 駅前こどもの広場には
有料託児室もございます。

〈駅前こどもの広場〉

0172-35-0156(10:00~18:00)

定休日: 第1・第3火曜日

https://www.hirorosquare.jp/erea1_3.html

駐車場

ヒロロ立体駐車場・弘前
駅中央口駐車場・弘前
駅城東口駐車場ご利用
の場合は3時間無料の
認証を受けることが出来
ます。

弘前市民文化交流館指定管理者 自主事業
弘前市民文化交流館指定管理者
弘前市駅前町9-20 ヒロロ3階

津軽の怪人たち

～弘前出身の怪人たちによる怪トーク～其ノニ

【出演者紹介】

鉄箒 (弘前乃怪・代表)



青森県弘前市出身。弘前乃怪代表。インターネットラジオ「ねとらじ」の時代から怪談活動を始める。小学生の頃は漫画かずおの「へび女」等を愛読、ラジオ番組「夜のミステリー」を愛聴して育つ。2000年代、全国で怪談ライブが増える中、「青森でも怪談ライブを開催したい」という思いから、2012年に弘前乃怪実行委員会を立ち上げ、県内での怪談イベント開催を実現。後に鶴乃大助・高田公太ら地元メンバーが加わり、地域に根ざした怪談文化の発信拠点として活動を広げてきた。

鶴乃 大助 (怪談作家・弘前乃怪)

青森県弘前市出身。酒とロックと怪談をこよなく愛する実話怪談作家。子どもの頃から「あなたの知らない世界」を欠かさず視聴するほどの怪談好きで、恐怖体験を語り合ううちに怪奇譚の蒐集へと進む。『青森の怖い話』『秋田怪談』『奥羽怪談』シリーズほか、著作多数。津軽のイタコやカミサマとも交流し、地域の霊文化にも造詣が深い。津軽弁による怪談語りが好評で、県内外でのイベント出演、企画を精力的に行う。前回に引き続き『津軽の怪人達』をプロデュース。



和嶋 慎治(人間椅子)



青森県弘前市出身。バンド・人間椅子のギタリスト&ボーカリスト。自宅でUFOアブダクション体験やキャンプ中の怪異遭遇など、不思議な出来事と深い縁を持つ。

稲川淳二や小泉八雲らの影響を受け、「怖さの奥にある優しさ」と日本の情緒を大切にする独自の怪談観を持つ。こうした怪談的感性は楽曲制作にも色濃く反映され、文学性と怪異性を併せ持つ世界観を生み出している。近年は怪談イベントにも出演し、注目を集めている。

黒木 あるじ (怪談作家)

怪談作家・小説家。青森県弘前市生まれ。山形在住。東北芸術工科大学卒。2010年『震』でデビュー。近著に小説『春のたましい 神祕いの記』『おしら鬼秘譚』『怪談怖気帳なまくび団地』など。幼少期から“怪”の世界に強く惹かれ、取材では人々の語る不可思議な体験を丁寧に聞き取り、実話怪談として記録するスタイルを貫く。『山形怪談』など伝承や風習に潜む“日常の怪異”を掘り起こし、東北を代表する怪談作家として活躍中。



Dr. マキダシ (精神科医・ラッパー・怪談家)



青森県生まれ。昼は精神科医。夜はラッパー、怪談作家、ラジオパーソナリティなど幅広く活動する。幼少期から“怪”に強く惹かれ、怖い話を集めては語ることをライフワークとしてきた怪談師。『稲川淳二の怪談グランプリ』優勝など実力派として注目を集める。

精神科医として人の心の傷やトラウマに向き合う日々が、怪談への洞察をさらに深め、著作『トラウマ怪談録 精神科医が語る本当に怖い話』では“心の闇と怪異の境界”を描き出した。